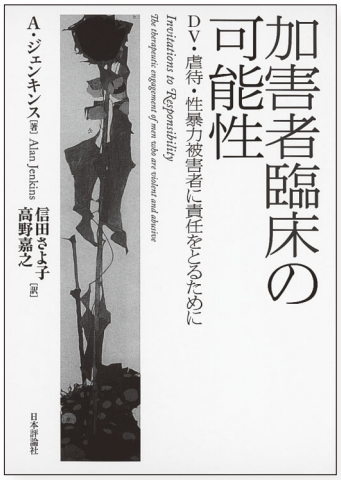
今月の5冊



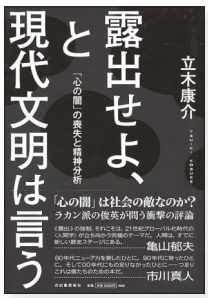
加害者臨床の可能性
DV・虐待・性暴力被害者に責任をとるために

A・ジェンキンス＝著、**信田さよ子・高橋嘉之**＝訳
定価3888円（本体3600円＋税8%）　日本評論社 ☎03-3987-8621

今、緊急に必要とされているのが、「加害者」への対応である。著者であるジェンキンス氏はカナダでのクリニカルサイコロジスト。心理臨床の知見が被害者のみならず、加害者臨床にも応用され、広く実践される時代が来た際に、このカナダの理論と実践プログラムは重要な示唆を与えるであろう。平易でありながら力強く、決して処罰的ではない文体。加害者を対等な人として捉え、変化の可能性を信じて疑わない、そのような著者の臨床的態度・信念がうかがえる。加害者臨床にかかわりたいと望む多くの人たちに勇気を与える書。

露出せよ、と現代文明は言う
「心の闇」の喪失と精神分析

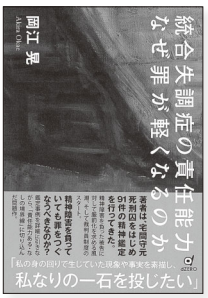
立木康介＝著
定価2592円（本体2400円＋税8%）
河出書房新社 ☎03-3404-8611



凶悪犯罪のたびにメディアで語られてきた「心の闇」。しかし現代の犯罪者は、ほんとうに「心の闇」をもっているのだろうか。むしろ彼らの心に「闇」がないことが問題なのではないか。私たちの心から「闇」が失われつつある。それこそが、現代の危機、心の危機をもたらしているとしたら？……「心の闇」は社会の敵なのか？　ラカン派の俊英が問う評論。

統合失調症の責任能力
なぜ罪が軽くなるのか

岡江晃＝著
定価1944円（本体1800円＋税8%）
dZERO ☎03-3830-0144



著者は、宅間守元死刑囚をはじめ91件の精神鑑定を行ってきた精神科医。精神障害を負った被告に対して厳罰化を求める風潮、そして裁判員制度がスタートした。精神障害を負っていても罪をつぐなうべきなのか？　鑑定事例を詳細に引きながら、「責任能力ある・なしの境界線」に切り込む。

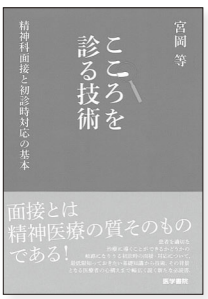
「キモさ」の解剖室

春日武彦＝著
定価1512円（本体1400円＋税8%）
イースト・プレス ☎03-5213-4700

本書のテーマは、「キモい」という事象。キモい人、キモい物、キモい光景、キモい出来事。その対象を文章で描き出し、じっくりと吟味し、どのようなことがどのようにしてキモい気持ちを立ち上がらせるに至ったのかを考察する。

こころを診る技術
精神科面接と初診時対応の基本

宮岡等＝著
定価2700円（本体2500円＋税8%）
医学書院 ☎03-3817-5600



今、精神科医に求められているのは、専門的な精神療法ではなく、「普通の面接」「常識的な面接」「患者さんを傷つけない面接」とても呼ぶべき面接なのではないか、という著者。患者を適切な治療に導くことができるかどうかの岐路になりうる初診時の面接・対応について、最低限知っておきたい基礎知識から技術、その背景となる医療者の心構えまで幅広く説く。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2014

2026/10/08 06:41:31